

当ファンドは単位型のケイマン籍オープンエンド型外国投資信託であり、当レポートの日付現在、募集を行っており、取得のお申し込みは出来ません  
プレシャス・トラスト

## ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託  
月次レポート 2016年2月

### 【当ファンド(ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド)の特徴】

当ファンド(ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド)は、パフォーマンス・リンク債に投資する公募外国公社債投資信託です。パフォーマンス・リンク債を通じて投資効果が連動する対象は、ベトナムの運用会社であるビナキャピタル・インベストメント・マネジメント・リミテッドが運用するファンドである、ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッド(以下「連動先ファンド」)です。連動先ファンドはクローズド・エンド型(いわゆる会社型投資信託/投資法人)であり、その証券(種類株式)2種類がロンドン証券取引所の新興市場(AIM)に上場されています。

☆ベトナムのインフラ投資が重点対象

ベトナムのインフラストラクチャーすなわち社会基盤(道路・湾岸設備、電力・ガスパラント、水資源、空港関連など)が最終的な投資対象となります。

### 【月次パフォーマンス】

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年次
2007	-	-	-	-	-	-2.48%	-0.48%	-6.79%	6.29%	2.27%	-5.96%	-1.32%	-8.75%
2008	-14.26%	11.92%	-7.91%	-6.47%	-9.29%	-18.18%	5.27%	-14.29%	-28.95%	-40.30%	-22.08%	5.93%	-80.62%
2009	40.05%	-7.96%	16.10%	-15.27%	45.94%	3.88%	2.32%	-4.77%	6.37%	2.87%	0.97%	-8.28%	89.82%
2010	11.68%	-0.67%	8.51%	-7.95%	-7.56%	-1.02%	1.03%	-2.09%	3.89%	5.78%	-0.11%	-2.79%	7.03%
2011	0.14%	-4.06%	-6.58%	2.20%	-10.74%	-1.09%	-3.78%	-11.43%	-7.34%	-1.57%	-4.56%	-7.65%	-44.52%
2012	0.30%	10.51%	11.95%	0.28%	-16.05%	-5.62%	16.49%	1.97%	7.75%	5.88%	2.82%	-2.78%	33.57%
2013	4.70%	4.52%	3.64%	0.50%	2.37%	-0.90%	-0.49%	0.85%	-0.45%	1.53%	9.74%	-3.04%	24.79%
2014	0.51%	6.47%	5.49%	-0.64%	-7.17%	-2.08%	7.62%	0.99%	3.53%	3.28%	-0.81%	-1.90%	15.29%
2015	1.17%	-3.12%	-0.72%	-0.30%	-1.64%	1.86%	5.48%	-20.27%	-1.82%	-1.30%	10.09%	-2.90%	-15.33%
2016	4.38%	5.41%											10.02%

### 【ファンドの運用状況】

#### ファンドの基礎データ

設定日	平成 19 年 6 月 18 日
償還日	平成 29 年 7 月 20 日
決算日	年 1 回(原則 4 月 30 日)
* 基準価額	35.68 米ドル
* 受益権口数	491,500 口
* 純資産総額	17.54 百万米ドル
* 設定来騰落率	-64.32%

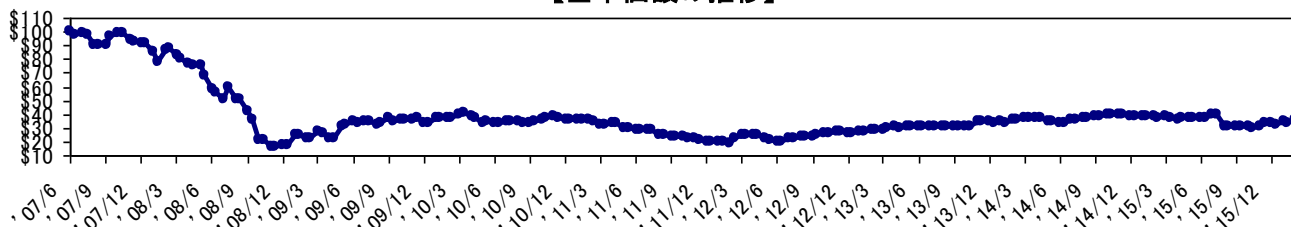
\* 基準日現在

#### 運用状況のハイライト

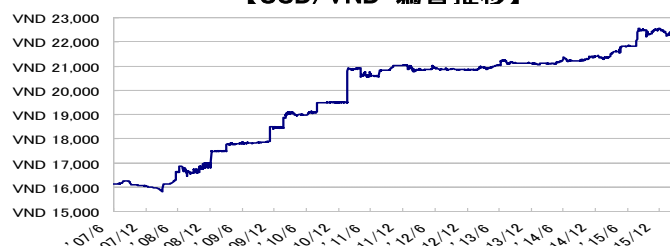
当ファンドの一口当たり基準価格は  
2016年2月29日現在 35.68 米ドルとなりました。

2016年2月29日現在、当ファンドの月次騰落率は  
+5.41%、設定来騰落率は -64.32%となりました。

### 【基準価額の推移】



### 【USD/VND 為替推移】



### 【JPY/VND 為替推移】



- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント(バーミュータ)リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価額の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

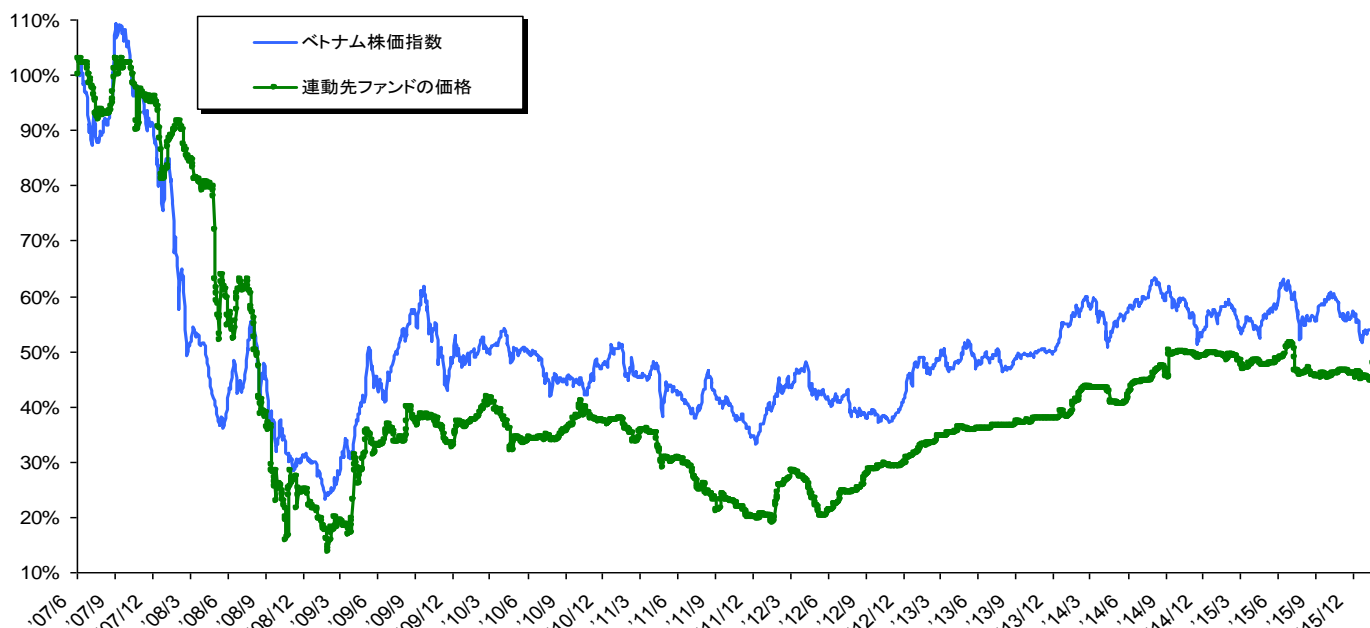
MOORE

当ファンドは単位型のケイマン籍オープンエンド型外国投資信託であり、当レポートの日付現在、募集を行っており、取得のお申し込みは出来ません  
プレシヤス・トラスト

## ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託  
月次レポート 2016年2月



- データの出所はブルームバーグです。
- 連動先ファンドは、2015年7月22日以降、2種類の証券を発行しています。上記「連動先ファンド」の価格は、ロンドン証券所の新興市場(AIM)における2種類の証券の価格を単純合計したものです(24日までの間、1種類の証券は上場されていなかったため、便宜上、27日の価格を用いて合計額を算出しています)。
- ベトナム株指数としてベトナムVN指数(ベトナム証券取引所上場の全銘柄で構成された時価総額加重平均の株価指数)を用いております。ベンチマークではなく、あくまでご参考情報です。

### 【連動先ファンド(ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッド)概要】

ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッド(以下「連動先ファンド」)は、ベトナムおよび周辺アジア諸国のインフラおよびインフラ関連資産に投資を行います。発電、輸送、水道公共施設、電気通信等のインフラ資産について、稼働中のプロジェクト、困窮中または膠着中の資産、未開発地域の開発等を投資分野とします。投資対象としては、インフラ資産を保有または運営している非上場企業またはベトナム店頭市場を含む証券取引所に上場されている企業の株式、債券、ハイブリッド証券等であり、また特定のインフラ資産やプロジェクトへの直接投資およびインフラ資産に投資するファンドへの投資も可能です。

連動先ファンドは、クローズド・エンド型のケイマン諸島で登記される免税会社(いわゆる会社型投資信託/投資法人)であり、その発行する2証券(種類株式)は、それぞれロンドン証券取引所の新興市場(AIM)に上場されています。

### 【投資運用会社概要】

連動先ファンドの投資運用会社であるビナキャピタルは2003年に設立され、現在、ベトナムにフォーカスした投資会社であるベトナム・オポチュニティー・ファンドおよびベトナムと周辺アジア諸国の不動産関連に投資する投資会社であるビナランドの投資運用会社でもあります。

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント(パーミュエダ)リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

MOORE

当ファンドは単位型のケイマン籍オープンエンド型外国投資信託であり、当レポートの日付現在、募集を行っておらず、取得のお申し込みは出来ません  
プレシヤス・トラスト

## ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託  
月次レポート 2016年2月

### 【マーケットコメント】

#### マネージャーのコメント

##### VNI シェアクラス

2016年2月29日現在のVNIの純資産総額は9,940万米ドル、1株当たり純資産価格は0.28米ドルで、前月から0.9%低下しました。VNIの株価は低下し、0.19米ドルで引けました。その結果、純資産価格に対する当ファンドの株価のディスカウント率は33.5%に拡大しました。

2月18日、VNIはベトナム・エアクラフト・リーシング・ジョイント・ストック・カンパニー(VALC)への出資を総額840万米ドルの対価で売却し、その全額を受け取った旨を発表しました。当該売却はVNIのプライベートエクイティ・ポートフォリオを対象とするエグジツト戦略に沿うものであり、2014年12月15日に開催された臨時株主総会(EGM)で承認されたVNI再構築案に準拠しています。本件売却による受取金は株主への資本配分に充当される予定です。

##### VNIL シェアクラス

2016年2月29日現在のVNILの純資産総額は3,310万米ドル、1株当たり純資産価格は0.31米ドルで、前月から3.7%増加しました。VNILの株価は大幅に上昇し、0.29米ドルで引けました。その結果、純資産価格に対する当ファンドの株価のディスカウント率は5.5%に縮小しました。

連動先ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッド(VNI)は2月中旬に、同社の発行済み上場ポートフォリオ株式(LPS)の50%を上限としてVVF株式のクラスA株と交換する第2回公開買付けを第2回買戻し日に行いました。当該公開買付け期間は2016年2月17日に終了し、同社のLPSの38.7%、株式数にして合計67,828,807株が有効に買付けられました。これにより発行済みLPS総数は107,281,741株に減少しました。

同社は上場ポートフォリオ株式をLPS1株当たり0.2932米ドル(2016年2月17日における純資産価格に対する株価のディスカウント率は2%)で買戻しました。当該買戻しは同社が公開買付けに応募した株主にVVF株式クラスA株を2,021,077.867株譲渡することで成立しました。

#### 資本市場の動向

VNILの原資産である「フォーラム・ワン-VCGパートナーズ・ベトナム・ファンド(Forum One-VCG Partners Vietnam Fund、略称VVF)」の1株当たり純資産価格は前月比2.5%上昇し、同時期2.3%上昇したベトナム株価指数(VN指数)をアウトパフォームしました。VN指数が象徴するベトナム株式市場の上昇の背景には、引き続き堅調な同国マクロ経済、および複数の企業が外国人保有比率の上限を上げるか、または上げる準備をしている動きがあります。こうした企業を規模別で見ますと、最大企業のビナムルクから、中堅の軍事銀行、さらに寝具類メーカーのエバーピアや海産物輸出業者のビンホアンといった小規模企業に及びます。

#### マクロ経済の状況

2月のマクロ経済状況は旧正月前の休暇による勢いに乗って好調さを維持しました。インフレ率は前月比0.42%上昇し、前年比では1.27%の上昇と堅実な水準にあります。2月の鉱工業生産指数(IIP)は穏当に7.9%上昇しました。また休暇の華やいだ気分を反映して、小売販売額は名目で9.7%増、実質で8.3%増と活況を呈しました。製造業者が操業を引き続き拡大するなか、2月の外国直接投資は前年比135%増加しました。現在のところ、ベトナム経済は2015年の高い伸びをも凌駕する勢いで順調に進んでいるように見受けられます。

(次頁へ続く)

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント(パーミュエダ)リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

MOORE

## ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託  
月次レポート 2016年2月

### 期待を上回る貿易収支

ベトナムの2月の貿易収支は、14億米ドルの赤字を計上した前年同月から一転し、9億米ドルの黒字を記録しました。水産業と農業の輸出急増と共に、自動車輸入額の急減(前年同月比 39%減)も今回の黒字をけん引しました。実際、ベトナムの農林水産業からの輸出売上高は2月に18億8,000万米ドルとなり、2016年最初の2カ月では、当該一次産業からの輸出総額は42億米ドルに上りました。同様の事例では、ベトナム繊維アパレル協会の発表によると、2015年に欧州連合(EU)がベトナムの縫製業から輸入した総額は31億1,000万米ドルに上り、同国はEUにとって最大級の縫製輸出国になっています。ベトナム・EU自由貿易協定の発効が近づくにつれ、このポジションは強まる一方になる見込みです。

### ベトナムのPMIがアジア地域他国を凌駕

日経公表のベトナム製造業購買担当者景気指数(PMI)は1月の51.5から当月は50.3に若干低下しましたが、それでも依然として拡大基調を維持しています。微減に転じた主な原因としては、多くの企業が従業員に春節休暇を認めるために操業のペースを緩やかにしたという季節要因が考えられます。注目すべきは、当月のPMIに関しては、ベトナムがアジア地域他国を上回る好成績を挙げたことであり、マレーシア、インドネシア、韓国、台湾などのアジア諸国のPMIはいずれも50を下回りました。

### 通貨への圧力が軽減

過去数カ月にわたって盛んに議論された論点は、中国とベトナムの関係を中心に展開しました。この状況は特に両国それぞれの通貨の動向に関連しています。その発端は言うまでもなく昨年8月、中国の通貨切り下げ直後にベトナム国家銀行がベトナム・ドン切り下げたことでした。2016年の最初の2カ月間は、ベトナム・ドンも中国人民元も米ドルに対して相対的によく値を保ち、年初来ベースではベトナム・ドンが0.6%、人民元が0.8%それぞれ上昇しました。ベトナム・ドンに関しては、今年力強いスタートは海外からの送金の季節的な増加、前述の貿易黒字、および大幅な外国直接投資の流入など複数の要因が相まってけん引役になっています。さらに、中国人民銀行が「大規模な単発の通貨調整はもはや過去の遺物である」と表明したことに加えて、米国連邦準備制度理事会による2016年3月利上げの可能性が次第に低下しているように見受けられることから、ベトナム・ドンへの圧力が軽減されています。

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント(パーミュエダ)リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

MOORE

当ファンドは単位型のケイマン籍オープンエンド型外国投資信託であり、当レポートの日付現在、募集を行っておらず、取得のお申し込みは出来ません  
プレシヤス・トラスト

## ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

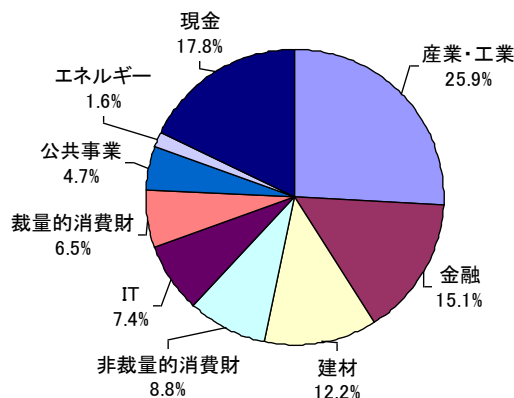
Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託

月次レポート 2016年2月

### 【連動先ファンドー上場ポートフォリオ株式(VNIL<sup>1</sup>)の資産配分状況】

業種別組入比率(対NAV比)(%)



### 【連動先ファンドー上場ポートフォリオ株式(VNIL<sup>1</sup>)保有組入銘柄上位】

	銘柄名	業種	比率	概要(事業内容など)
1	ビナムミルク(VNM)	非裁量的消費財	8.8	大きな市場占有率を有する乳製品大手
2	ベトナムコンテナグループ株式会社(VSC)	産業・工業	8.6	ベトナム北部の港湾運営会社で、ハイフォンのコンテナ貨物取扱で12~15%の安定した市場占有率を有する。
3	FPT 情報通信株式会社(FPT)	IT	7.4	ベトナムでのテクノロジー会社大手で、ソフトウェア開発、システム統合、通信サービス、配信に特化。
4	ベトコムバンク(VCB)	金融	5.2	最大手銀行のひとつ
5	ホアファット鉄鋼グループ(HPG)	建材	4.9	大手鉄鋼製造会社、建築用鋼材と鋼管に特化。
6	カンドン水力発電株式会社(SJD)	公益事業	4.7	ビンフック省での設計発電量 77.6 メガワットの水力発電プロジェクト会社。
7	ホーチミン市インフラ投資株式会社(CII)	産業・工業	4.6	インフラストラクチャー関連大手で、プロジェクトや不動産への投資のほか、有料道路の通行料徴収関連事業も手掛ける。
8	コテックコンストラクション(GTD)	産業・工業	4.5	中堅の産業用建設会社
9	モバイル・ワールド・グループ(MWG)	裁量的消費財	3.9	携帯電話端末及び関連商品の小売大手
10	MB バンク(MBB)	金融	3.2	

<sup>1</sup>この欄に記載された上場株式は、VCG パートナーズ・ベトナム・ファンド(VVF)を通じて間接的に保有されているもので、比率は、VNIL 分となる現金を含めて調整されています。2016年2月17日付の公開買付けによるVNILの買い戻しの結果、連動先ファンドはVVFの持ち分を3,288,435.51口保有しています。

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント(パーミュエダ)リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

MOORE



当ファンドは単位型のケイマン籍オープンエンド型外国投資信託であり、当レポートの日付現在、募集を行っておらず、取得のお申し込みは出来ません  
プレシヤス・トラスト

## ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託  
月次レポート 2016年2月

### 【連動先ファンドー未公開株式(VNI) 保有組入銘柄上位】

	銘柄名	業種	比率	概要(事業内容など)
1	Ba Thien II Industrial Park	工業団地	26.7	ヴィンフック省での 308ha 工業団地プロジェクト。事業用土地だけでなく使用可能な工場をライフライン含め提供。
2	VNC 55 Infrastructure JSC <sup>2</sup>	通信	26.4	ダナン市を本拠にする、携帯電話基地局の賃貸会社。ベトナム中部を中心に展開。
3	Global Infrastructure Investment JSC <sup>2</sup>	通信	21.1	ホーチミン市を本拠にする、携帯電話基地局の賃貸会社。ベトナム南部を中心に展開。
4	Mobile Information Service JSC <sup>2</sup>	通信	14.8	ハノイ市を本拠にする、携帯電話基地局の賃貸会社。ベトナム北部を中心に展開。
5	Long An Industrial Service & Residential	工業団地	2.2	ロンアン省における複合大規模開発。

<sup>2</sup> SEATH グループ会社

- 前頁および上記の概要(事業内容など)は、連動先ファンドの投資運用会社であるビナキャピタルの 2014 年第 1 四半期、第 4 四半期、2015 年第 1 四半期、2016 年 3 月分のレポート、ならびに、2015 年 7 月 22 日公表の「AIM Admission Document」に基づきます。

※ 連動先ファンドの再編でポートフォリオを二つに分けた為、レポートのレイアウトを変更致しました。

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント(パーミュータ)リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

MOORE

当ファンドは単位型のケイマン籍オープンエンド型外国投資信託であり、当レポートの日付現在、募集を行っておらず、取得のお申し込みは出来ません  
プレシヤス・トラスト

## ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託  
月次レポート 2016年2月

### 【投資リスク】

当ファンドは、実質的にベトナムおよび周辺アジア諸国のインフラおよびインフラ関連資産に分散した投資を行うベトナム・インフラストラクチャー・リミテッド(以下「連動先ファンド」)の発行する証券の価格に連動します。連動先ファンドの発行する証券の価格は、ロンドン証券取引所の新興市場(AIM)の市場価格であり、価格変動リスクにより損失が生じることがあります。また、AIMでの取引市場で十分に流動性があるとは限らず、取引価格が連動先ファンドの純資産価格を十分に反映していない価格での処分を強いられる可能性があります。

当ファンドは米ドル建てであり、仮に米ドル建てで元本を上回っていても、日本円に換算した場合には、米ドル/円の為替リスクにより、損失が生じることがあります。当ファンドの直接の投資先は、バークレイズ・バンク・ピーエルシー手配の特別目的会社であるダリ・キャピタル・ピーエルシー(以下「本社債発行会社」)の発行する、パフォーマンス・リンク債であるため、本社債発行会社の資金繰り等が悪化すると、償還金の支払い等の債務が履行されず、損失が生じることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、受益証券一口当たりの純資産価格の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

### 【手数料等】

申込手数料： 購入価格に対して上限 3.24%(税込み)

買戻手数料： 買戻価格に対して上限 3.24%(税込み)

管理報酬： 額面に対して年率 0.3%

受託報酬： 額面に対して年率 0.1%、毎月 1,000 米ドルの固定報酬、その他取引処理費用等実費

販売報酬： 額面に対して年率 0.7%

設立費用等： 当初募集総額の 0.22%相当(償却済み)

本社債手数料： 当初募集総額の 2%相当(償却済み)、額面に対して初年度は年率 1.1%(2年目以降は年率 0.6%)

連動先ファンド手数料： 上場ポートフォリオ株式に関し、当該株式が対応しているルクセンブルグ籍ファンドで純資産を基準とした、また、プライベート・エクイティ株式に関し、当該株式が対応している投資対象の売却額等を基準とした、それぞれ運用関連手数料。

その他、取締役報酬、監査報酬等の実費

### 【販売会社に関する情報】

当ファンドの販売会社は、エース証券株式会社(大阪府大阪市中央区本町二丁目6番11号)であり、証券業を営む証券会社(金融商品取引業者)です。日本の金融庁の監督下にある証券会社であり、登録番号は、近畿財務局長(金商)第6号です。また、日本証券業協会の会員です。

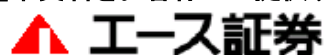
### 【その他関係法人等】

管理会社： ムーア・マネジメント(バーミューダ)リミテッド/管理会社としての業務を行います。

管理事務代行会社： HSBCインスティテューショナル・トラスト・サービスズ(アジア)リミテッド/純資産価格の評価や管理業務を行います。

代行協会員： エース証券株式会社 / 代行協会員業務を行います。

### 【本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等】



商号等： エース証券株式会社(金融商品取引業者) 登録番号： 近畿財務局長(金商)第6号

加入協会： 日本証券業協会

指定紛争解決機関 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント(バーミューダ)リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

MOORE